



- 交通アクセス**
- 新田空港から南紀白浜空港まで約1時間10分
 - 和歌山市まで 関西国際空港からバスで 約40分 大阪市内中心部から車で 約1時間
- JR
 ■ 新幹線
 ■ 南海電鉄
 ■ 高速・自動車専用道路
 ■ 京奈和自動車道
 ■ 主要道路
 ● 今号の取材先

メディア関係の皆さまへ

和歌山県では、取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

- お問い合わせ** 和歌山県広報室
 TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500
 e-mail / nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
- 県外にある情報コーナー**
- 東京 わかやま喜集館
 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
 TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002
 e-mail / wtkankou@sepia.ocn.ne.jp
 案内時間 / 10:00~19:00 (日曜、祝日は17:00まで)
 休館日 / 年末年始
 - 名古屋 和歌山県名古屋観光センター
 名古屋市中区栄4丁目1-1 中ビル4階
 TEL. 052-263-7273 FAX. 052-265-0327
 e-mail / wakayama758@crocus.ocn.ne.jp
 案内時間 / 9:00~17:45 (月~金) ※祝日・年末年始は除く

和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/>

和歌山 応援団 求む。

「ふるさと和歌山応援寄附」を通じてサポートしてください

和歌山県では、世界遺産や文化財の保全、2015国体開催、美しい海づくりなどに活用させていただきます。選択肢の中から活用方法の指定もできます。どうぞよろしく願いいたします。

ふるさと和歌山応援サイト
www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/
 ※クレジットカードもご利用可能です。



2009 vol.9

企画・発行 / 和歌山県
 発行日 / 平成21年7月31日
 編集 / (株)和歌山放送
 写真 / 長岡写真事務所
 印刷 / 中和印刷紙器株式会社

「和-nagomi」は古紙配合率70%以上の再生紙、大豆油インキを用いて制作しています。

「和」題 05 熊野・高野をダイレクトに結ぶ アクセスバス限定運行

紀伊山地の霊場と参詣道がユネスコの世界遺産に登録されて5周年になるのを記念して熊野交通(本社・新宮市)は、熊野・高野を結ぶアクセスバスを8月31日まで運行する。観光客の利便をはかるため、予約制。JR紀勢線の紀伊勝浦駅と南海高野山駅を約4時間半で結び、1日上下2本運行。途中、新宮駅、熊野本宮大社、川湯温泉、牛馬童子口などに停車。料金は紀伊勝浦ー高野山が大人4000円、小人半額など。予約・問い合わせは、熊野交通予約センター0735-22-5101(18時以降は新宮営業所0735-31-3180)へ。



「和」題 06 高野山へ、展望デッキ付き列車「天空」が定期運行を開始



展望デッキ付き列車「天空」

南海電鉄(本社・大阪市)は、7月3日から高野線の橋本～極楽橋間19.8キロで観光列車「天空」を定期運行している。世界遺産・高野山へ続く景色を堪能できる大型窓側を向いたワンビュー座席や展望デッキを採用。橋本・学文路・九度山・極楽橋に停車。高野山行きケーブルカーに接続。11月までは水曜と木曜を除く毎日2往復運行。(水・木曜が休日の場合は運行)12月～2月は土・休日に運行。すべて座席指定。指定料金は大人500円、小人250円。要電話予約。「天空」予約センターは06-6644-7503(9時～17時)。

Present 早和果樹園「味ーギフトセット」を5名様にプレゼント



糖度12度を超える極上みかんだけを使ったジュース「味ーしぼり」で知られる和歌山県有田市・早和果樹園の「味ーギフトセット」(味ーしぼり720ml×2本、黄金ジャム300g×1個、味ージュレ150g×3個)を5名様にプレゼントします。本誌のアンケートはがきでご応募下さい。締め切りは9月25日、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

「和」題 03 熊野古道を案内する本を出版 写真家と語り部のコラボレーション

熊野古道を案内する語り部の話や熊野の写真が1冊の本になり、このほど発売された。『語り部とともに歩く 世界遺産 熊野古道』(かんき出版定価1680円税込み)。文は熊野古道語り部の第一人者で、国選定の観光カリスマに選ばれた坂本勲生さん、写真は世界の芸術や歴史、宗教などの写真を撮り続けている写真家南川三治郎さん。語り部の文を前進座の俳優嵐圭史さんが朗読したCDつき。「美しい写真と心に響く朗読で熊野の神秘を味わう」と熊野への旅を誘っている。



(上) 観光カリスマの坂本勲生さん、(右)「語り部とともに歩く 世界遺産 熊野古道」



「和」題 04 高野山町石道・道普請ウォーク開催

世界遺産に指定されている高野山町石道や熊野古道の保全に取り組むためのボランティア・ウォークが始まった。和歌山県が主催、来年1月まで4回開催。第1回は、世界遺産登録5周年を前にした7月5日、高野山町石道で道普請を行った。200人の参加者がかつらぎ町丹生都比売神社から高野山壇上伽藍までの15キロを語り部とともに散策。途中、文化財保護の専門家の指導のもと道普請を体験した。次回以降は熊野古道の清掃や道普請、ササユリの復活などに取り組む。



傷んだ路面に土を入れて補修

Event 東京・青山に6日間限定、今年も「高野山カフェ」がオープン

東京にしながら気軽に写経や精進料理を楽しむことができる「高野山カフェ」を今年も9月1日～6日、東京・青山でオープンする。高野山の魅力を首都圏の若い女性らにPRするため南海電鉄と高野山真言宗金剛峯寺が協力して開く恒例のイベント。メニューは、イタリアンテイストを取り入れた精進ランチ、ごま豆腐のスイーツなど。写経や瞑想、精進料理講座も体験できる。青年教会師による声明の披露もある。詳細については高野山カフェ2009事務局(03-3257-0035)へ。



昨年の高野山カフェの様子



精進ランチ

今号の「和」題

旬の和歌山情報をお届けします。

「和」題 01 熊野地域に新たな情報拠点 「世界遺産熊野本宮館」がオープン



世界遺産の景観保全や活用、観光情報発信の拠点となる「世界遺産熊野本宮館」が7月3日、熊野本宮大社そばにオープンした。紀州材を使った木造平屋建て。248席の多目的ホールや、熊野参詣の変遷などを写真や図表で紹介する展示コーナーなどを備えている。オープンに合わせ、田辺市本宮行政局内に設置していた「和歌山県世界遺産センター」も、同館の展示棟内へ移転。世界遺産を知り、学び、感じることができる展示&交流空間「Kii Spirit」では、セミナーなども行われ、世界遺産をより身近に感じることができる。



世界遺産熊野本宮館

「和」題 02 「企業のふるさと制度」スタート 商社マンが田植え体験



伊藤忠商事大阪本社の社員ら47人が5月30日、かつらぎ町天野の水田で田植えをした。和歌山県がスタートさせた、「食」に関心ある企業と地域住民が交流することによって農山村と地域の活性化を図ろうという「企業のふるさと制度」の第一弾。そろいのTシャツに男性は半ズボン、女性はショートパンツ姿の社員は、農家のおばあさんから「それじゃ苗が多すぎや」「ほれ、そこが曲がっている」などと指導を受けながら1束ずつ手植え。若い社員同様、田植えが初体験だったと言う同社の加藤誠相談役は、「やってみると難しいもんですね。でも、お陰で社員に自然に親しんでもらい、食について考えるきっかけができました。本当にいいお見合いをさせていただきました。一時雨が降るあいにくの天気だったが、地域の人たちと商社マンとの出会いは、終始、笑顔に包まれていた。